

# 令和4年度年次報告 (令和3年度実績)

ANNUAL REPORT 2021

東京海洋大学を支えてくださる皆様へ



## CONTENTS

本学を支えてくださる皆様へ .....01

### 年次報告編

- I. 教育・学生支援について .....03
- II. 研究について .....05
- III. 国際交流について .....07
- IV. 社会貢献について .....09
- V. 管理・運営について .....11

### 財務報告編

- I. 教育関係経費の状況 .....13
- II. 研究関係経費の状況 .....14
- III. 外部資金の獲得の状況 .....14
- IV. 教育研究支援経費の状況 .....15
- V. 一般管理経費の状況 .....15
- VI. 財務諸表(令和3年度決算の概要) .....16
- VII. 教育研究環境の整備充実 .....18

汐路丸Ⅳ世(令和3年10月竣工)

海洋の未来を拓くために

国立大学法人



東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology



## 本学を支えてくださる皆様へ



国立大学法人東京海洋大学長  
井関 俊夫

東京海洋大学は、「海を知り、海を守り、海を利用する」をモットーとして、人類社会の持続的発展に貢献することを目的として、海洋に関連する基礎的・応用的教育研究を行っています。令和4年4月からは国立大学法人としての第4期中期目標期間に入り、6年間で達成する目標を掲げるとともに、それらを達成するための具体的な計画を策定しました。さらに、SDGsやカーボンニュートラルの実現のために本学が果たすべき役割を見定め、大学の進むべき方向を指し示す「ビジョン2040」とそのアクションプランを策定しました。これらによって、本学が目指す「海洋の分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学」となるための努力を重ねていきます。

一方で、教育研究施設については常に良好な状態に維持管理される必要があるため、中長期的キャンパス整備指針「キャンパスマスタープラン2022」を取りまとめました。このプランに沿った整備を着実に推進し、海洋の未来を拓くイノベーション・コモンズとして魅力あるキャンパスの創出に努めていきます。

この令和4年度年次報告では、令和3年度における具体的な実績を取りまとめています。ステークホルダーの皆様におかれましては、本学の教育・学生支援、研究、国際交流、社会・地域連携、管理運営ならびに財務状況に対してご理解頂き、より一層のご支援を賜りたくお願い申し上げる次第です。

## 大学が目指すもの

### 大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行います。

### 大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、海を守り、海を利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要があります。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成します。

1. 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
2. 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
3. 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
4. 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
5. 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

### 大学像

海洋分野において国際的に活躍する産官学のリーダーを輩出する世界最高水準の卓越した大学を目指します。

## 東京海洋大学基金について

▶ <https://www.kaiyodai.ac.jp/kikin>



平成 23 年に「東京海洋大学基金」を設置し、皆様からいただいた貴重な寄附金を、優秀な学生への修学支援をはじめ、教育研究等の活動の推進を図るとともに教育研究環境の整備充実に活用させていただいております。

また、平成 28 年の税制改正に伴い、「修学支援事業基金」を創設し、優秀な学生が経済的理由で修学を断念することがないように、給付型の奨学金として支給させていただくとともに、令和 3 年度より新たに学生（大学院生・学部生）やポスドク等、若手研究者を支援するため、「研究等支援基金」を設置しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による対応としましては、前年度に引き続き学生の修学支援として、経済的に修学困難な学生に奨学金給付、保護者の家計の急変やアルバイトの収入減少などで、生活支援を必要としている学生への給付支援、食の支援及び遠隔授業への対応費用等の貸与支援を行うことができました。

### 令和 2 年度実績

- 学資支給事業（修学支援事業）
- 新型コロナウイルス感染症対策助成事業
- 修学支援貸与金
- 課外活動補助（サークル活動補助等）
- 附属図書館整備充実（図書購入（電子書籍を含む））など

### 令和 3 年度 東京海洋大学基金収支

#### 【受入の部】

（単位：千円）

区分	金額	備考
前年度繰越金	733,383	
寄附金受入額	69,098	
受取利息	2,928	
合計	805,409	

#### 【支出の部】

（単位：千円）

支援事業	金額	備考
学生の修学支援	21,214	新型コロナウイルス感染症対策助成事業、学資支給事業、課外活動補助 他
教育研究環境の整備	202	新任教員研究環境整備
学術資料の収集・管理棟	47,098	「明治丸」の修繕・周辺環境整備、図書購入
その他基金の目的達成に必要な事項	3,234	金実施経費、パンフレット作成、校友会関連経費等
管理等経費	5,008	寄附金受入額の10%
小計	76,756	
次年度繰越金	728,653	
合計	805,409	

## 校友会について

「東京海洋大学校友会」 ▶ <https://koyu.kaiyodai.ac.jp/>



平成 29 年度より新たな学部として「海洋資源環境学部」を設置し、また各学部においても改組再編を行い、国内における唯一の海洋系総合大学としてその体制を強固なものとししました。これを機に、社会全体における東京海洋大学の存在をさらに強くアピールするため、全学的に在学生、卒業生、修了生、在学生・卒業生の保護者、教職員、各同窓団体等の新たな交流を活発化させ、大学との関係を緊密にし、連携を強化することにより、大学の発展に寄与することを目的とした、「東京海洋大学校友会」を発足させました。

校友会では SNS 機能、校友会メルマガ、限定動画配信、公認課外活動団体ポータルサイトなど様々な機能を備えた校友限定ホームページを公開しています。（登録及び会費は無料です。）

## 同窓会について

「一般社団法人 楽水会」 ▶ <http://rakusui.or.jp/>

楽水会は、水産業及び海洋に関する学術的進歩への貢献・支援とともに、東京海洋大学と学生の支援、加えて会員の資質向上及び親睦をはかることを目的として、東京海洋大学品川キャンパスの卒業生等を会員とする同窓会組織です。

「一般社団法人 海洋会」 ▶ <http://www.kaiyo-kai.com/>

海洋会は「海事に関する学術その他諸般の事項を調査研究しその発展に資するとともに、会員の親睦を図ること」を目的として、東京海洋大学越中島キャンパスの卒業生等を会員とする同窓会組織です。

## 大学の概要について

詳しい内容等については、下記 WEB サイトをご覧ください。

▶ 東京海洋大学 <https://www.kaiyodai.ac.jp/>

▶ 大学概要 <https://www.kaiyodai.ac.jp/etc/guidebook/overview/index.html>

## 受賞報告・新聞・テレビ報道等

▶ 詳しくは、WEB サイトをご覧ください。 <https://www.kaiyodai.ac.jp>

トップページ>東京海洋大学について>広報活動等

【重要】本誌に掲載されている大学 WEB サイト参照先については、令和 5 年度からのサイトリニューアルに伴い、URL が変更となるものがあります。



海洋の未来を拓くために  
国立大学法人

東京海洋大学

Tokyo University of Marine Science and Technology

令和5年2月発行

東京海洋大学 令和4年度年次報告書（令和3年度実績）

編集・発行：東京海洋大学総務部総務課広報室

東京海洋大学財務部財務課

